

特集

- ・ 花は桜木 人は武士
- ・ 封筒・書籍用紙キャンペーン
- ・ 偽造防止印刷
- ・ リニューアルのお知らせ

花は桜木 人は武士



今月から新年度となりました。4月から新年度というのは世界的には珍しく、多くは9月から、らしいですが、やはり日本は桜の花の舞い散る4月に心機一転、新たな年度を迎えたいものです。

桜前線も北上真っ最中ですが、ここで言う桜は主にソメイヨシノを指します。東京では靖国神社の観測木が5輪咲くと「開花」宣言がされるわけです。

ソメイヨシノは江戸末期～明治初期に江戸の染井村（現在の豊島区駒込）で育成され、「吉野桜」として売り出されました。明治33年に「染井吉野」と命名されましたがこの名は、大和の国（奈良県）の桜の名所・吉野山にちなんでおります。かの地に多いヤマザクラとの混同を避けるために「染井吉野」とされました。

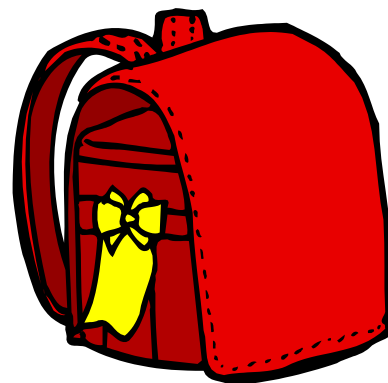
学名は *Prunus × yedoensis* と言い、エドヒガンとオオシマザクラの混合種であると考えられております。真ん中の「×」は交雑種を意味し、単一の種として進化してきたものではありません。そのためか、ソメイヨシノは種子で増えません。各地にある木は全

て人の手で接木（つぎき）して増やしたものです。ですから全てのソメイヨシノは元をたどれば1本の木につながります。クローンみたいなものです。なので特定の病気にかかりやすいとか、環境変化に弱いといった弱点もあります。寿命も60年ほどで、いっせいに枯れだすといった説もありますが、樹齢70年を超えるソメイヨシノも存在しており、いまだ結論は出ておりません。

ともあれ、ソメイヨシノは我々日本人の心をつかんで離しません。

そこで表題に戻るわけです。「花は桜木 人は武士 柱は檜 魚は鯛 小袖は紅葉 花はみよしの」これは花や人の、それぞれ一番良いと思われるものを挙げていった言葉のようです。桜は散り際が美しいもの、武士もまた潔い散り際（死に様）が良しとされました。最後の「みよしの」も、前述の吉野山の桜を指します。二度繰り返すところに、如何に桜が愛されているかもうかがえますね。

桜の新たな開花とともにまた今年もまた1年間、宜しくお願いいたします。



スギウラ株式会社
営業部 営業一課
〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業一課
027-361-5734

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

お気付きの点や質問、
疑問などありましたら、
ご遠慮なく営業または、
下記までお問合せくだ
さい。

お問合せ
メールアドレス
sg-arai-yoshio@kamisugiura.co.jp

封筒・書籍用紙キャンペーン

今月も引き続き「封筒・書籍用紙
キャンペーン」開催中です！

今回のキャンペーンもいよいよ残
すところあと 1 ヶ月。この機を逃す
と次のキャンペーンはまた 1 年後に
なってしまいますので、お早めに。

封筒、書籍用紙ともに近年ますます
ラインナップを拡充させました。

まずは弊社までお問い合わせを、よ
ろしくお願いいたします。

偽造防止印刷

表題だけではピンとこないかも
しませんが、例えば住民表など、
コピー機にかけると「複写」などの
文字が浮き出る印刷技術を使った
ものです。

弊社でも、この商品の取り扱いを
始めました。

印刷本紙それ自体は、「複写」な
どの警告文字が見にくい絵柄にな
っております。この警告文字がやや
大きい網点で刷られており、コピー
すると再現されやすいのです。反対
にそれ以外の面は小さい網点で作
成されていて、コピー機では再現度
が低いので警告文字が印刷として
残る、という原理です。

ベースとなる紙も、基本的には上
質紙（55K 以上）が大半ですが、コ
ート紙は勿論、感熱紙、感圧紙もご
使用いただけますので、様々なシー
ンでお使いになれます。

もともとはアメリカで生まれた

この技術、現在は日本でも広く普及し
ており、住民票や各種証明書、教育機
関では卒業証明書や成績証明書。金融
機関では ATM 利用明細、残高証明。医
療関係では処方箋やレセプト用紙。そ
の他チケットや金券など、文字通り複
製されては困る品物ばかりです。

以前小紙でも紹介いたしました「セ
キュリティー用紙」ともども、今後ま
すますの需要が見込めます。まずは弊
社までお問い合わせ下さい。



ニュースレターリニューアルのお知らせ

小紙も皆様のご愛顧のお陰で、今
号で 34 号。もうすぐ 3 周年を迎えま
す。

そこで弊社の決算（4 月）を機に、
紙面のリニューアルを予定していま
す。現在は営業 1 課・2 課別々に発
行しており、内容も 1 課は印刷用紙
の話題が中心、2 課は家庭紙が中心
に作られておりますが、これを統合

し、読者の皆様により広範な情報をお
届けしたいと思えます。

いままで全く触れたことがなかっ
た紙のことが分かることも、あるかも
しれません。

リニューアル後も、今までと変わら
ぬご愛顧をよろしくお願いいたしま
す。